

教材作成者からのアドバイス

<ポイント>

法教育の入門授業ですので，初挑戦の児童，先生方も多いと思います。

まず，

- ①安易に合意しないこと（答えをすぐに出さない）
- ②できるだけ自分の利害を主張すること
- ③相手の主張を聞くこと
- ④理解と合意の違いを認識すること
- ⑤欠席者への連絡
- ⑥その他の配慮事項
- ⑦場所を変えることで解決しないこと（出し方や時間）

等の複数の問題点についても丁寧に話をし，合意とそれを守ることの大切さを感じる授業をしていただければと思います。

この話し合いは，「答えが出ない」ことを知ってもらうためのものですので，結論を急ぐ班には，しっかりと対立させるようにしてください。また，対立ばかりの班には，問題の整理と，それに基づいた話し合いをさせるように助言をお願いします。

町内会の開催の申し出は，ゴミの収集場所について全面否定しているわけではなく，

- ①出す時間
- ②出し方

であり，この部分をクリアすれば現行のままでも大丈夫であることにも気づいてほしいです。

しかしながら，そのルールを守っていないであろう大学生が欠席というには，大問題ですのでそのことの解決策や誰が伝えて守ってもらうようにするのも話し合わなくてはなりません。

みんな自分の家の前にゴミは置いてほしくないものです。でも，ゴミを出さないと困ります。それぞれの事情も千差万別です。そのあたりが引き出せて，しかも，対立から合意へ向かうことができれば，自分たちの生活にもきっとつながってくると思います。